

仙台YMCA

みつかる。つながる。よくなっていく。

No.353.2023



# 仙台青年

SENDAI YMCA NEWS



2023年9月22日発行

公益財団法人仙台YMCA  
〒980-0822  
仙台市青葉区立町9-7  
Tel 022-222-7533  
Fax 022-222-2952  
www.sendai-ymca.org  
発行人 / 加藤雄一  
編集人 / 松島晃子



## 2024年4月、 仙台YMCA幼稚園が変わります。

仙台YMCA幼稚園は1910年の青葉幼稚園から始まり、仙台YMCA青葉幼稚園、仙台YMCA幼稚園と、園名が変わってきました。

そして、就労する保護者の方が多くなってきたことから、2015年に幼稚園型認定こども園仙台YMCA幼稚園となりました。こども園になった当初、園児数の3割であった2号認定（就労する保護者の子ども）の数は現在7割程度となっています。入園・利用する子どもたち、保護者の状況、そして社会全体の動向を踏まえ、2024年度仙台YMCA幼稚園は新しいことに取り組むことにしました。

### 1.2歳児の受け入れを開始します。

受け入れの一番大きな理由は、在園児保護者の複数の保育施設の送迎の負担を解消したいとの思いからです。弟妹が近隣の小規模保育施設へ通っているケースが毎年一定数います。そのような家庭の負担を少しでも軽くしていきたいと思っています。また、幼稚園に入園するまで他施設で保育を受ける子どもたちを1歳児から受け入れることで、私たちが現状より長期にわたって子どもたちの成長を見守る時間が多くなり、保護者、子どもたちに寄り添う機会を増やすことができるとの願いからです。

(第2面に続く)

## 自園での給食提供を開始します。



これまでの保護者の皆さんの手作りのお弁当は、私たちには真似できない愛情です。私たちの園では保護者の方の手作りのお弁当をずっと大切にしてきました。しかし、食育という観点から見ると私たちの園はあまり取り組めていませんでした。給食を導入することで様々な食材と出会い、みんなで同じものを食べることで、今まで苦手だったものも食べられるきっかけになります。また、温かい食事を提供することができます。更に、子どもたちがクッキングをする機会も多くし、食育を大いに取り入れていきたいと思っています。

給食提供については1999年4月より私たちYMCA幼稚園の仲間であるYMCA保育園、こども園が既に自園給食を提供していて、そのノウハウを得ることができます。幼稚園で進めることにしている給食は、和食中心の献立です。ご飯に汁物と3つのおかず、一汁三菜を組み合わせた献立です。

体に必要な「エネルギーになるもの」「体をつくるもの」「体の調子を整えるもの」という3つの栄養素をバランスよく摂ることができます。家庭で摂りにくい鉄分や食物繊維を給食で取り入れるようにしています。薄味、出汁の風味を大切に給食を心掛け、かつ手作りにこだわっています。また、魚に親しんでほしいという願いを込めて週2日魚料理を取り入れていきます。

おいしい給食を提供できる日を今からとても楽しみにしています。



報告：高橋 祐子

### 連載

加藤 総主事の

『みつかる。つながる。  
よくなっていく。』

第4回

「留学生の朱(ジュ)さん」

入学して3ヶ月、彼は若い仲間たちと共にホテルの基本を学び、7月中旬からは軽井沢のホテル鹿島ノ森でインターンシップを行いました。ここで彼はベッドメイキングやベルボーイの仕事を経験。総支配人からは「ヨンソクさんはなんでも120%の力でやってくれる」という高評価を受けています。仙台YMCA国際ホテル専門学校には、高校を卒業して入学してきた学生のほか、海外からの留学生が在籍しています。その中の一人に、韓国人留学生の朱榮石（ジュヨンソク）さんがいます。年齢は53歳。3年の軍隊経験もある朱さんがホテル科に入学したのは、もともと釣りが好きで、「釣りバカ日誌」のDVDを見たことで日本に興味を持ち、その後旅行で訪れた先のおもてなしに感動して日本のサービスを身につけたいと思ったからだそうです。新型コロナウイルスが5類に移行し、外国人旅行者も戻り始めました。政府は、留学生についても2033年までに40万人（うち専門学校9万人）を目標に受け入れを進めていく計画です。これからますます増えていく外国人留学生ですが、朱さんのように年齢を重ねてからの学び直し（リスキリング）も留学生に限らず増加していくことと思います。YMCAは「みつかる。つながる。よくなっていく。」をスローガンに事業を展開しています。朱さんの物語はまだこれからですが、彼のように自分の可能性を広げ、夢を追いかける機会を提供するために、ホテルや企業とのさらなる連携を強め、質の高い教育を提供し、「よくなる」の種を成長させていきます。私たちは、一人ひとりの人生と共に歩める喜びを感じながら、これからも留学生の夢の実現を支援していきます。





「ボランティアを始めて」  
松浦 将哉（東北学院大学3年）



私は大学2年生のとき、大学の授業で仙台YMCAのサッカープログラムの実習をさせて頂いたことをきっかけにボランティアを始めました。現在はサッカーのリーダーとして主に活動しています。ボランティアを始めた頃は、自分から子どもたちとコミュニケーションを上手くとれず悩みました。そこで、まずは子どもたち一人一人の名前を呼ぶことを心がけました。そうすることで、子どもたちからも「まさやリーダー！」と呼んでもらえるようになりとても嬉しく感じました。名前を呼ぶことがコミュニケーションをとる上でとても重要なことを学びました。ボランティアをする中で子どもたちの笑顔を見るのが一番の楽しみです。そのために私が笑顔でいることを心がけています。また、子どもたちの笑顔を引き出すためにはどうしたらいいのか考え、最近はたくさん褒めることを意識しています。ただ闇雲に褒めるのではなく、子どもたちのどこがよかったのかを伝えながら褒めるように努力しています。

子どもたちの笑顔を引き出すことは簡単にできることではないですが、「楽しい」という気持ちになったときに笑顔になれると思います。今後も子どもたちに「楽しい」と思ってもらい笑顔をたくさん引き出せるリーダーになるよう努力していきます。

## YMCAと私

## 日吉台児童館

「貴重な経験」  
本間 理勢さん（6年生）のお母様



日吉台児童クラブにお世話になり、今年で6年目となりました。

学校の昇降口を出て、ものの1~2分で児童クラブに「ただいま」と入ると、笑顔で「おかえり」と声をかけてくれる。正に、自宅のように落ち着ける場所。安心して親の迎えを待てる場所となっています。だからこそ、安心して仕事ができるのだと感じています。このような環境作りに、日々尽力されている職員の方々に心より感謝いたします。

娘は、児童クラブで多くの人と関わる事により刺激を受け、沢山の事を学びました。

学校では、殆ど同学年同士の関わりだけですが、児童クラブでは他の学年との関わりになります。

兄弟のいない娘にとっては、下の子の面倒をみる、困ってれば助ける、一緒に遊ぶという事から、学年の垣根を越えた友だちを作る事が出来ました。また、以前参加した「火おこし体験」や「雪遊びディキャンプ」では、自然の中で活動をする事によって、楽しさだけでなく、自然の中での大変さ、厳しさも学ぶ事が出来ました。

このような貴重な経験をさせて頂いた児童クラブの存在がとても有り難く、高学年となった今でもお世話になる事ができ、本当に感謝しています。

10月開講!!

マンツーマン  
**English レッスン**

YMCAイングリッシュスクール

受講生募集中!!

『レベルに合わせて、英語を楽しく!!』

- ※ 詳しくは、同封のチラシをご覧ください。
- ※ お問い合わせは電話またはメールにて承ります。

電話：022-222-7645

mail：gakko@sendai-ymca.org

## 仙台YMCAの使命

私たち仙台YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の生き方に学びつつ、青少年の全人的成長を願い、このわざを東北の地に広げるための活動を行います。

## 共に生きる社会をめざします。

私たちは、すべての人が喜びと痛みを分かち合う、豊かな愛と希望に満ちた社会の実現に努めます。

## 喜びのある生き方をすすめます。

私たちは、すべての人が、生涯にわたる学びと交わりをとおし、共に成長できる生き方をすすめます。

## 世界平和の実現に努めます。

私たちは、歴史をふりかえり、一人ひとりの人権とすべてのいのちが等ばれる世界の実現に努めます。

## 地球環境を大切にします。

私たちは、地球環境を守り、自然と人との共存をめざします。

## ボランティアの働きを地域社会に広げます。

私たちは、人と人とのかかわりを豊かに育み、隣人に仕えあう喜びの輪を広げます。

## 子どもたちの生きる力を育てます。

私たちは、子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、子どもたちが自発性に富み、自立心豊かでたくましい人間に育つよう支援します。

協賛等のご協力をお願いいたします！



皆さんこんにちは！

この度、チャリティゴルフの実行委員長の役割を拝命致しました仙台青葉城クラブの菊地と申します。

今年で26回目を迎えることとなります。その間、参加人数は徐々に増えてきており、東京YMCAや横浜YMCAが主催する規模と肩を並べるくらいになりました。

今回は、88名の参加者を目標としています。コロナ禍での3年間は、県外から参されていた方々に声をかける事を制限した中でのチャリティゴルフでした。その影響もあって、賞品・協賛品の品数が減少傾向となっております。これからは、そういった面を充実させ、参加される方々に満足して頂けるような内容にしたいと考えております。何卒、ご協賛の提供を賜ります様よろしくをお願いいたします。

なお、プレーに参加する方々から頂くおひとりにつき4,000円の参加費等は、子どもの水難事故を防ぐため仙台市内の新入学児童等に「ウォーターセーフティーハンドブック」を配布・次世代を担うボランティアリーダーを育てるため大学生等を「リーダー研修会」に派遣・仙台市内の児童養護施設の子どもたちを水泳プログラムやキャンプへ招待。これら3事業を達成する為に支援金として使われます。協賛等にご協力を賜ります様よろしくをお願いいたします。

## 告知

## チャリティゴルフ

日時：2023年10月19日（木）

会場：泉国際ゴルフ倶楽部

主催：公益財団法人仙台YMCA

共催：仙台ワイズメンズクラブ、仙台青葉城ワイズメンズクラブ  
仙台広瀬川ワイズメンズクラブ、石巻広域ワイズメンズクラブ

後援：泉国際ゴルフ倶楽部、さとう音楽事務所

定員：88名（22組、先着順）

申込方法：参加ご希望の方はQRコードを読み込むか、お電話でお願いします。

電話 022-222-7533

締切：10月1日（日）

チャリティゴルフ  
お申込みフォーム



## 大会参加者募集中！

協賛品の寄贈も受け付けております。  
詳細はWEBをご参照ください。



HPはこちら！



## ワイズコーナー



### 「iGo インターンシッププログラム」

iGo（アイゴー：世界に手を伸ばすためのインターン制度）は、ワイズメンズクラブ国際協会（略称：YMI）とYMCAが共同で行っている就業体験プログラムです。このプログラムは、YMIの各種組織の一員である18～30歳（渡航予定時）の若者を対象としています。対象者は以下のとおりですが、ご関心のある方は最寄りのワイズメンズクラブまでお問い合わせください。

清水 弘一

- ワイズウイメン・ワイズメン・ワイズメネットの子弟および孫
- YMIに付属する、ワイズメネットクラブまたはワイズユースクラブに所属し該当する年齢層の若者
- 該当するYMCAスタッフおよびユースボランティアリーダー

詳しくはこちらをご覧ください↓

<https://www.ysmen.org/partners/youth/programmes/igo/>

### 維持会費（7月22日～9月20日）

皆様のお支えに、心より感謝申し上げます

維持会員A  
油谷 重雄

維持会員 B  
岡 久雄

※敬称略



### 一般会員・サポート会員を 随時募集中です

ぜひ会員として、  
仙台YMCAの活動をお支えください  
お問い合わせ：本部事務局

TEL:022-222-7634

FAX:022-222-2952